

Book Review

評者：大村裕佳子 金城大学看護学部

看護教員のためのデジタルツール活用法 動画で学んでオンライン授業の質向上！〔Web 動画付〕

著：板谷智也／発行：医学書院

定価：2860円（本体2600円＋税10%）



デジタルツールの活用で、オンラインと対面は相補的になる！

COVID-19の流行は教育機関にも大きな混乱をもたらした。本書には、著者がその流行を機に試行錯誤して得た、質の高いオンライン教育のための実践知が集約されている。デジタルツール初心者からハイブリッド形式の学会を主催したい人まで幅広く対応した内容で、テキストは簡潔にまとめられ、各章ごとに説明動画が収録されている。使用機材も丁寧に説明されていることから、手技や環境の再現も比較的容易だろう。

私から見た著者は、山岳に心酔して世界各国のトレイル・ランニングを制覇するスーパーアスリートでありながら、そのGPSのログを解析して健康増進に寄与できないかと論文化してしまう、保健統計学のエキスパートでもある人物だ。故郷で災害が起きた際には、その健脚を活かして孤立した集落到達し、支援活動を行っていた。そして、大学教員系YouTuberとして看護師国家試験対策動画を配信するなど、まさに越境人材・進化系教員として心から尊敬している。

私は「いしかわ多職種連携教育プロジェクトあいまいぴー」という、学校でも職場でもないサードプレイスでの多職種連携教育/学習（Interprofessional Education/Learning：IPE/IPL）の運営に携わっている。保健医療福祉などの学生、実践者、教員を中心に、参加者がゲームや自職種の紹介、「ごちゃまぜカンファ」という多職種でのグループワークを通してお互いから学び合い、

より良い連携・協働の在り方について考える営みだ。COVID-19の流行前は多様な人々が一堂に会することに価値を置き、運営メンバーと対面で密なコミュニケーションを図りながら、IPEイベントを計画してきた。

IPE/IPLは、いかにインタラクティブ（相互作用）であるかが重要である。オンラインでは再現が難しいのではないかと絶望していたが、Google Jamboardを用いれば、遠隔でもブレインストーミングができ、また、文書の共同編集、データの共有、ミーティングのログとしての録画の活用などができた。本書の中でも紹介されているSlidoは、タイムリーに匿名でコメントを集約・共有することができ、オンラインIPEイベントにおいてとても役立った。

このように、今やオンラインは単なる対面の代替ではなく、相補的なものとなった。デジタルツールの活用により、人々は距離を超えて集うことが可能になり、工夫次第では双方向での学びも可能である。あいまいぴーの仲間にはデジタルツールの最適化の達人がおり、共にオンラインでさまざまな作業に取り組むうちに、いくつものツールを使いこなせるようになった。さらに、本書を読んだことで目的に合わせた各ツールの設定の詳細がわかり、より自信を持って円滑に操作できるようになったと感じている。看護教員はもちろん、幅広い分野の方に本書をご活用いただきたい。